

## 「豊かな教育を子どもたちに」

### I 研究内容

#### 1 研究内容の具体的内容与方法

(1) 甲州支会と山梨支会に分かれ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会…『～今よりもっと～ 教育環境を向上させるために』

○調査・分析

○標準化

○5 S活動

予算分析・予算要求の課題確認・バス代調査・5 S活動の実践とまとめ・企業の働き方改革から学ぶ学校現場の業務改善にむけた学習会（視察研修）

イ 山梨支会…『豊かな教育を子どもたちに』

○前年度決算・当初予算推移の結果分析

○法改正と学校組織マネジメント

○私費について

○校務支援システムに関する研究

○新学習指導要領の理解と教育環境整備

本年度当初予算・前年度決算の分析、法改正と学校組織マネジメントについての学習会（講師招聘）、私費の取り扱い・校務支援システムに関する研究、新学習指導要領の理解と教育環境整備についての学習会

(2) 『東山梨教育研究2017年度号』内の「教育行財政及び教育環境の実態」を担当し、「教育環境の実態」について、調査を実施。昨年度同様の様式・調査項目で継続調査を実施し、東山梨地区の教育環境の実態把握及び改善点等を探る。

### II 成果と課題

#### 1 成果

(1) 甲州支会

5 S 活動については昨年度までのとりくみに加え、日々の業務の効率化にむけて情報交換をおこなってきた。教育環境の拡充とコスト削減の観点から、効果的な予算活用を目標に、小グループに分かれて各校の課題について検討し、各グループの代表校が全体で実践を発表した。個人の実践から学校全体での実践まで、学校規模や経験年数に応じた様々なとりくみが展開され、自校の状況に顧みることができた。

(2) 山梨支会

事務職員として、様々な視点に立ってとりくむべき内容を研究することができた。あわせて、事務職員が学校の中で精力的に関わっていく姿勢について考える機会となった。予算分析や私費の調査は継続して進めてきたことで、各校の課題が目に見えるようになったので、次年度以降もとりくんでいく必要がある。市の事務担当者会と連携をしていく中で、相乗効果がとても有効に働いたと実感できた1年間となった。

(3) 全体として

分散会形式で支会ごと研究を行ったことで、各市における課題を明確にし、それぞれ

継続している研究を更に深めることが出来た。甲州市は5 S活動もまとめに入り、昨年度よりも充実した研究内容となった。山梨市については、講師を招聘した学習会など、教育現場のあり方や仕事への向き合い方についても共通理解を図ることができた。

## 2 課題

### (1) 甲州支会

予算分析結果から、29年度は各校の予算が枠配当されたことが確認され、学校間格差の拡大や大型備品の購入が、より困難となることが想定されるため、予算執行上の注意点や予算要求時の課題を確認する中で甲州市としての課題も確認した。

市として保有している庁用バスが2台あるが、教育委員会保有のバスは1台も無いため、利用が厳しい現状である。バス代調査分析をもとに、庁用バスの活用にむけた検討と、私費負担の軽減にむけた業者の選定を今後も検討していく必要がある。

### (2) 山梨支会

私費の分析を行う中で、各校の課題点を明確にすることができた。その一方、配当予算の減額を受け、事務幹を中心に対応をしたが、学校現場にとっては非常に大きいダメージとなった。今後確定される配当金額に対し、補正等を利用しながらいかに学校の実態に合った形の予算に整えていけるかが課題となる。事務担当者会と連携を図る中で、行政に対してのアプローチを今まで以上に強めていく必要がある。

### (3) 全体として

両市とも、予算や決算についての分析をする中で、財政難であることが課題として取り上げられている。調査で得た内容を、予算の確保や私費負担の抑制につなげることができたら良い。また、甲州市の5 S活動を通じて、職員への意識向上の働きかけは管理職に頼る部分と、事務職員からも発信をしていかなければならないということも共通確認された。

支会ごとの研究で、それぞれの市が抱える課題により深く取り組んできているが、法律の改正等もあり、私たちを取り巻く環境は変化している。学校が組織として機能できるように、これからは更なるマネジメントが求められてくる。継続させていく必要がある研究や、これから取り入れていかなければならない課題を両市ともに把握し、さらなる教育条件の整備を目指していきたい。

## III 成果物

### 1 甲州支会

- 予算分析調査表
- バス代調査表
- 5 S活動

### 2 山梨支会

- 学校配当予算分析表、学校配当予算一覧表、学校配当予算・決算一覧表
- 小中共通予算要望書
- 私費取り扱い実践シート

(部長 砂山玲央)